



《 PRESS RELEASE 》

2011年1月25日

東京大学医科学研究所

1. タイトル:

「先端医療研究センター感染症分野岩本愛吉教授が2010年度中国科学院国際科技合作賞を受賞」

2. 発表概要:

2010年度中国科学院国際科技合作賞受賞者に、東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野岩本愛吉教授が選ばれました。

受賞理由は、同教授を中心に、中国科学院北京生命科学研究所と東京大学医科学研究所の共同研究推進に積極的に取り組んできたこと、北京市にある中国科学院生物物理研究所および微生物研究所の中に日中連携研究室を設置し、日中間の微生物学、免疫学および感染症の共同研究の促進に重要な役割を果たしていることが評価されたものです。

3. 発表内容:

岩本愛吉教授は、2003年以降中国を頻りに訪問し、2005年には東京大学と中国科学院との間の学術協定締結に貢献しました。2005年に採択された文部科学省「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」によって、北京市にある中国科学院の2つの研究所(生物物理研究所及び微生物研究所)と共同し、それぞれの研究所に日中連携研究室を設立しました。このプロジェクトは、文部科学省と中国科学技術部により、正式な日中政府レベルの共同研究プログラムとして認められています。東京大学医科学研究所から教員(現在までに延べ7名)を長期に派遣する一方、中国からの研究者も受け入れてきました。中国科学院におけるこれら2研究室は、微生物学、免疫学および感染症分野において日中間の共同研究促進に重要な役割を果たしています。2010年、文部科学省の支援により東京大学と中国科学院は5ヶ年の第2期共同研究拠点プログラムを新たに開始しました。岩本教授は、日中連携研究室を基礎として更なる共同研究の推進とレベルの向上を目指しています。

なお、中国科学院国際科技合作賞(2007年設置、英文名 Award for International Scientific Cooperation of the Chinese Academy of Sciences)は、中国科学院の国際科学技術連携において著しい貢献をした海外の優秀な専門家に対し、その功績をたたえ、また今後の更なる連携を奨励する目的で授与されているもので、過去、本学においては、有馬朗人・元東京大学総長が2008年度に受賞しています。

中国科学院国際合作局ホームページ

http://www.bic.cas.cn/gikjhzj/201012/t20101214_3044420.html

東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点

<http://www.rcaid.jp/>

【参考】2008年度受賞者: 有馬朗人・元東京大学総長

有馬元総長は1980年代より中国科学院の蘭州近代物理研究所、中国科技大学、上海応用物理研究所を頻繁に訪問されました。蘭州重イオン加速器冷却蓄積リング(HIRFL-CSR)プロジェクトの立ち上げにおいて、近代物理研究所幹部らを日本に招く一方、日本からも専門家を派遣し、HIRFL のグレードアップや中国若手研究者の育成と技術向上に大変貢献されました。東京大学総長在任中には、東京大学と中国科学院との実質的な交流と協力関係の推進にもご尽力されました。21世紀に入ってから、両国間の最先端科学技術分野および科学技術戦略分野での相互交流において重要な役割を果たしておられます。

4. 問い合わせ先

[東京]

東京大学医科学研究所

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

東京大学医科学研究所 事務部総務課長 松井潤一

[北京]

東京大学医科学研究所 アジア感染症研究拠点 北京プロジェクトオフィス

中国 100190 北京市海淀区科学院南路 2 号 融科资讯中心 C 座南楼 5 階 509 室

5. 受賞者の経歴・主な業績

岩本愛吉教授は、1974年東京大学医学部卒業。内科研修の後、東京大学医学部第 1 内科(当時)に入りました。東京大学医学部助手、講師、助教授を経て、1994 年より現職。2003 年－2006 年東京大学医科学研究所附属病院長を務めました。専門は感染症、特に HIV 感染症／エイズの臨床と基礎研究。専門領域においては、日本エイズ学会理事長、第 24 回日本エイズ学会会長(2010年)などを歴任し、現在厚生労働省エイズ動向委員長、国際エイズ学会アジア太平洋地区代表を務めています。また、2009 年以降日本感染症学会理事長を務め、インフルエンザやワクチンなど、国の進める感染症対策について重要な役割を果たしています。

6. 授賞式等概要

【授賞式】

日時:1月27日(木)14:00-15:00

会場:国誼賓館 (中国 北京市西城区文興東街1号)

【記者会見】

日時:1月27日(木)15:00-16:00

会場:国誼賓館 (中国 北京市西城区文興東街1号)

【参考】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(J-GRID)概要

文部科学省「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」(2005～2009年度)は、日本の大学や研究機関がアジアやアフリカに8カ国12の共同研究拠点を設立するとともに感染症研究を推進することを目的に開始されました。2010年度より第2期として、感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases「J-GRID」)が開始されています。

<http://www.crnid.riken.jp/pfrc/index.html>